10月号
2026
No.082
October

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

AMG協議会ニュース
AMG News!

上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP

編集・発行人　AMG協議会総務部 広報室　http://www.amg.or.jp
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修／(株)寿エンタープライズ　制作／(株)博愛社

人財開発室

人財開発室が実施する研修についてご紹介します

2026年度 上半期の取り組みと下半期に向けて



人財開発室では、職員一人ひとりが自身の役割や日々の業務を振り返り、新たな気づきを次の行動につなげられるよう、階層や役割、テーマに応じた研修を企画・実施しています。
今号では、上半期の取り組みと下半期の予定をご紹介します。

上半期の主な取り組み

5月	・AMG主任職初任者研修会 ・JIMUサロン
6月	・AMG係長以上全体研修会 ・AMGワークアウトファシリテーター研修会
7月	・JIMUサロン

1.JIMUサロン　開催報告

JIMUサロンは、日々の業務や組織運営に役立つテーマを学び、施設や職種を越えて気軽に参加できるオンライン形式の学習機会です。
2026年度は隔月で開催しています。

5月開催 ｜ 目標管理（MBO）

組織目標と個人の目標を結びつけ、成果と成長へつなげる考え方を学びました。「目標の合意」「対話」「納得感」を高めるための関わり方や、心理的安全性を高めるコミュニケーションについて学びました。

参加者アンケート結果より





講師の方の経験談を交えての説明だったので説得力がありました

7月開催 ｜ KGI・KPIの考え方

目標から日々の行動へつなげるKPIマネジメントの流れを学びました。KPIの乱立や評価偏重、行動が継続しないといった落とし穴を確認し、「やることリスト」の活用方法について考えました。

参加者アンケート結果より





KPIを知らなかったので、例と一緒に説明していただけて大変分かりやすかったです

「職員参加型KPI目標管理の確立」は、2026年度AMG重点施策の一つです

AMGは、データを共通言語として活用し**「数字で動く組織」**を目指しています。
2026年度は**「実行・管理・成果をつなぐ職員参加型KPI目標管理の確立」**をグループ全体の重点施策に掲げています。

JIMUサロンでも、KPIを目標と日々の業務をつなぐ共通言語として学び、数字を行動や改善に活かす視点を共有しました。

KGI・KPIってなに？

Goal
目指す状態

KGI
Key Goal Indicator
最終的に達成したい数値
（Goalを数値化したもの）

KPI
Key Performance Indicator
目標に向けて、取り組みが順調に進んでいるかを確認するためのものさし

たとえば‥

患者さんに満足してもらう → 患者満足度90点以上 → 平均待ち時間30分以内

学びを、明日からの一歩へ。 ｜ 人財開発室

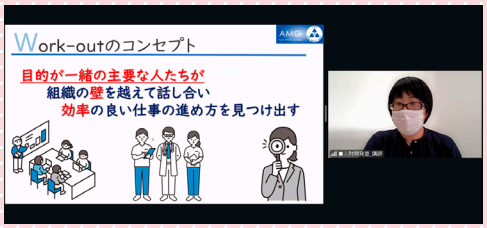
2. 階層別・役割別研修会 開催報告

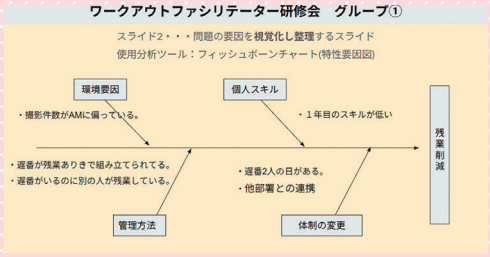
2-1 AMGワークアウトファシリテーター研修会 6月開催

AMGのワークアウトを推進する人財を継続的に育成することを目的に、2026年度　AMGワークアウトファシリテーター研修会を開催しました。本研修会では、講師育成に「屋根瓦方式」を取り入れており、昨年は受講者として参加していた講師陣から、ワークアウトの基本と仕組み、問題解決の手法などを学びました。



講師が集合した配信会場の様子





グループワークでは分析ツールを使って課題解決に臨みました

参加者	満足度	推奨度
53人	94.3%	92.5%



研修内容

01 ワークアウトの基本と仕組み
ワークアウトの考え方やルールなど概要を学ぶ

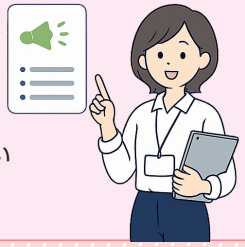
02 ワークアウトの進め方
問題解決のプロセスや分析ツールについて学ぶ

03 ワークアウトの事例
事例を交えながら進めるうえでの考え方などを学ぶ

04 グループワークによる課題解決の実践
少人数のグループで実際にワークアウトに取り組む

参加者の声

・多職種の意見を聞くことで、自分にはない視点や発見に気づくことができた。
・ワークアウト大会だけでなく、日常業務改善へのプロセスとして役に立つ内容だった。
・題材で悩んでいたが、いろいろな取り組みを知り、小さなことでもまずはできることからやってみようという気持ちになった。



講師を経験して感じたこと

・議論が別の方向に進みそうな場面で助言し、その後の話し合いが円滑になった経験が、ファシリテーションへの自信につながった。
・資料を繰り返し読み、分かりやすく再構成することで、受講時には曖昧だったワークアウトへの理解が深まった。

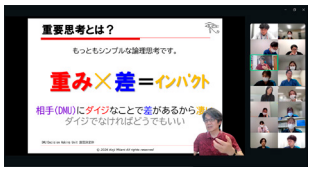
人財開発室

2. 階層別・役割別研修会 開催報告　つづき

5月開催／202人参加

2-2 AMG主任職初任者研修会





講師にK.I.T（金沢工業大学）虎ノ門大学院教授の三谷　宏治氏を迎え、「重要思考」の基礎となる**「決める力と伝える力」**について学びました。

主な学び　主任の役割認識／考え方と話し合い方／決める力／伝える技術

参加者の声

・患者様からの相談を受ける際にギスギスしてしまう時があるのは、相手の重みと自分の重みが違うからなんだとわかりました。DMUの重みに対してこちらの差をしっかり伝えていきたいです。

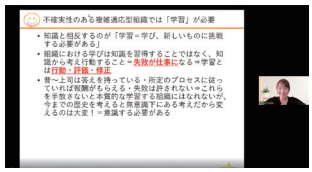
・何かを決めるとは何かを捨てることでもあるというのは、驚いたと共に、新しい考えや変化を怖がらずに進んで良いのだと、背中を押された気がした。

・グループワークで普段あまり話さない課の方々とディスカッションした際に、チームの皆さんがとても素晴らしく明瞭で、自分がこのグループの一員であることを改めてよかったと思いました。

6月開催／1,404人参加

2-3 AMG係長以上全体研修会





テーマは**「現代に求められている組織づくり」**。講師に看護師／保健師でもある上村　久子氏を迎え、変化の大きい時代において、管理・監督者に求められる考え方や職場づくりについて学びました。

主な学び　組織づくり／心理的安全性／モチベーション／コミュニケーション

参加者の声

・組織の歴史について説明を受け、今のリーダーには学習する組織を作ることが求められていると理解ができた。事例もあるある話だったため、身を乗り出して聞く内容であり楽しい研修時間でした。

・リーダーとして求められる考え方や、傾聴の重要性などを体系的に学ぶことができました。日頃の業務で感じている課題とも重なることが多く、今後のチーム運営を考えるうえで参考になりました。

・研修で学んだことで、声掛けや関わりの仕方を少し変えるだけで、組織の形を変えるきっかけになるのではないかと思えた。やってみようと思えた。

下半期に向けて

10月　AMG新人事務職フォローアップ研修会

10/20（火）・22（木）・27（火）・29（木）

会場：大宮ソニックシティ 会議室

内容はいずれも同一で、対象者はいずれか1回に参加します

11月　AMG係長以上全体研修会フォローアップ

11/25（水）オンライン開催

6月同様、上村久子氏「現代に求められている組織づくり」です

一人ひとりの小さな変化が、職場を変えていく。

研修で得た気づきを、明日からの業務で一つ実践する。
その一人ひとりの小さな行動の積み重ねが、職場やチームのより良い変化につながります。



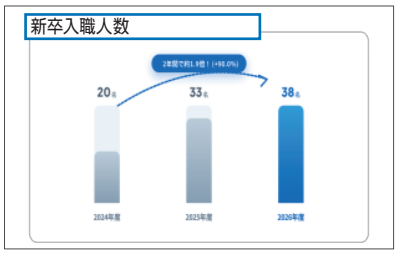


学びを、明日からの一歩へ。 ｜ 人財開発室

ソーシャルワーカー部

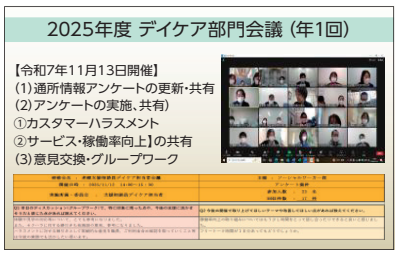
2026 キックオフ開催

2040年以降を見据えた医療体制構築の為、厚生労働省が「医療SW業務指針」を改正。SWの活躍がますます期待される中、6月5日、2026年度ソーシャルワーカー（以下SW）部キックオフを開催。SW部の4システム紹介・専門職としての研究発表奨励・SW部6部門代表者とAMG在宅連携部担当による2025年度活動報告、2026年度活動計画などを共有しました。今年度もSW350名は、質の高いソーシャルワーク実践、AMG内外連携に努めます。

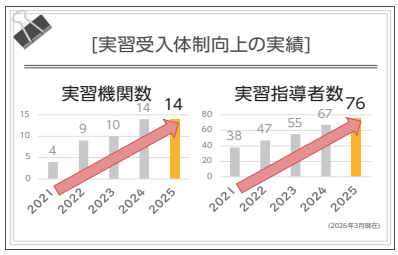






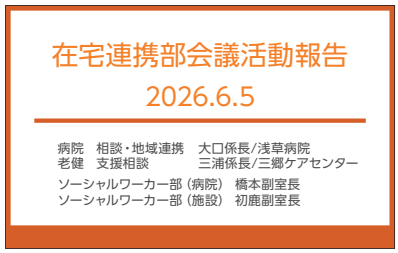












2027 内定者フォローアップ研修

2027年度新卒内定者を対象に、8月3日フォローアップ研修を開催。

内定者と病院施設SWのオンライン交流会。1年目SWによるパネルディスカッション。内定者との交流を行いました。内定者からは、職場の様子、入職に備えて準備すべきこと、1年目の業務内容、一人暮らしについてなど様々な質問が寄せられました。研修後の内定者アンケートでは、先輩との交流達成率91%、AMG入職意欲上昇86%との回答を頂きました。

SW2027年度新卒SW達の入職が今から楽しみです！



▲研修運営担当



▲各職場先輩SWとのオンライン交流



▲1年目SW奮闘記

ソーシャルワーカー部

老健運営部門 老健チーフ・代表者会議

6月24日、Zoomにて「2026年度　第1回老健チーフ・代表者会議」を開催いたしました。

老健勝田・遠藤主任による「協力医療機関との連携～外来受診体制の再構築～」をテーマとした演題発表では、実践的な取り組みが紹介され、多くの学びを得る機会となりました。続くグループワークでは、各施設における受診体制や協力医療機関との連携、日頃の課題について活発な意見交換が行われ、施設間で情報共有を深めることができました。

また、事前アンケートや地域連携会議の報告を通じて、各施設の現状・課題を把握、共有いたしました。



教育研修部門 新人フォローアップ研修「ソーシャルワーカーのセルフケア」開催報告

6月23日、ソーシャルワーカー部新人研修を開催。第一部では「新人時代に知っておきたかったこと～ソーシャルワーカーとして働き続けるために～」をテーマに、株式会社ヒューマン・タッチ　古屋いずみ先生にご自身の経験をもとに、新人時代に直面した葛藤や失敗から得た学びについて講義いただきました。利用者のペースを尊重する視点や多職種との調整の重要性など、長く働き続けるためのヒントを共有いただきました。第二部の座談会では、参加者同士が日頃感じている悩みや不安、やりがいについて意見交換を行い、同期とのつながりを深める貴重な機会となりました。



▲講師の古屋先生

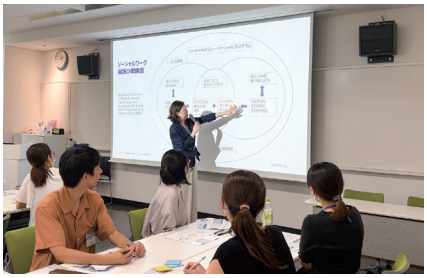

▲先輩SWを交えた座談会


▲古屋先生を囲んで

教育研修部門　「ソーシャルワーク実践のプレゼンテーション・実践報告を学ぶ」研修開催

7月30日、専門シリーズ研修①「ソーシャルワーク実践のプレゼンテーション・実践報告を学ぶ」を開催しました。昨年に引き続き、社会医療研究所、東京家政大学、武蔵野大学大学院非常勤講師としてご活躍の原田とも子先生を講師にお迎えしました。参加前は「難しそう」というイメージを持っていた方もデータを活用した客観的な伝達やプレゼンテーションが組織内の調整や業務改善の有効な手段と捉える意識の変化が見られました。グループワークでは具体的な課題分析手法を体験し、日常業務や様々な発表機会へ活用する積極的な姿勢が見られ、経験年数に応じた学びのある充実した研修となりました。


▲佐原先生を交えて笑顔のグループワーク


▲原田先生による講義


▲原田先生、佐原先生を囲んで

キャリアサポートセンター

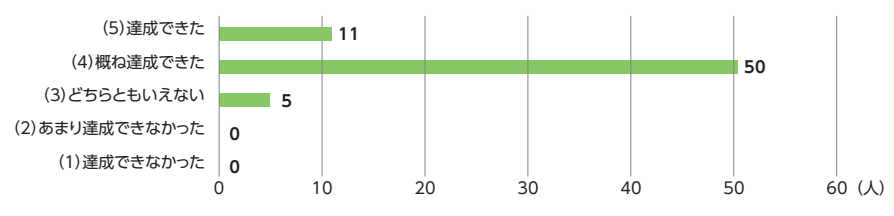
2026年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベルが閉講しました

2026年修了者 70名

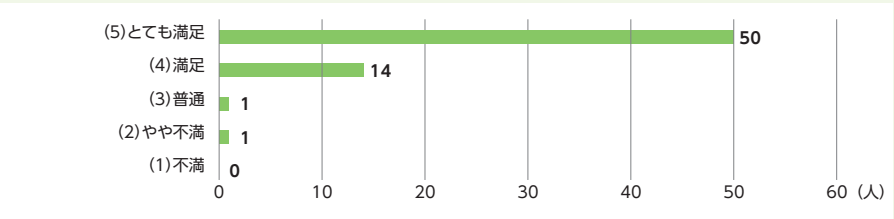
キャリサポの修了者は 1,404名 になりました。

アンケート結果 ※一部抜粋

本研修を受講しファーストレベルの教育目的・到達目標をどの程度達成できたと感じますか



開講から閉講までの全体の満足度



修了者の声

看護管理者に必要な知識だけでなく、自己理解・他者理解を基盤とした管理者としての思考過程を体系的に学ぶことができた。特に、自己の課題を客観的に分析し、理論を用いて具体的な改善策を導き出すプロセスを経験したことで、今後の実践に活用できる視点を身につけることができた。



ORIDを用いた振り返りや認知的徒弟性を活かした関わりを活用し、人材開発に努めたい。



交流会があることによって、ZOOMでありながらも他の研修生と悩みを共有したり、他の病院ではどのように対応しているのか知ることができ、とても貴重な時間になった。



2028年度から認定看護管理者教育課程のカリキュラムが改訂します。

認定看護管理者教育課程のカリキュラムが変わります

※詳細は日本看護協会のHPをご参照ください。



当センターでは、2028年度までファーストレベル・セカンドレベル・サードレベルを継続して運用する予定です。残り2回（2027年度・2028年度）の研修機会をぜひご活用ください。

2027年度の研修案内は、

●ホームページ ▶▶▶▶▶▶ **2026年12月掲載予定**

●協議会ニュース ▶▶▶▶▶ **2027年1月号に掲載予定**

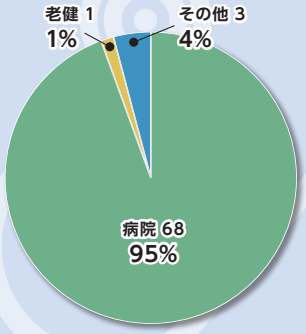
なお、カリキュラム改訂の詳細については、日本看護協会ホームページをご確認ください。

キャリアサポートセンター

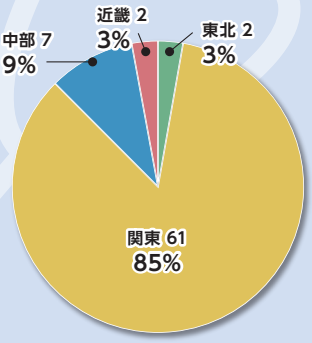
2026年度 受講者概要

認定看護管理者教育課程 セカンドレベル ・・受講者数 72名

受講者の所属



受講者の所属地域

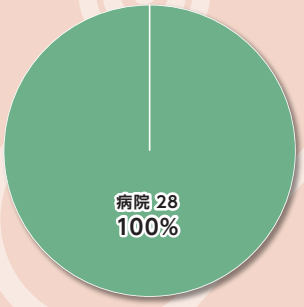




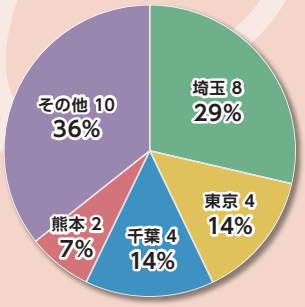
講義が終わり、10月から統合演習が始まりました。受講者は、自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案していきます。

認定看護管理者教育課程 サードレベル ・・・受講者数 28名

受講者の所属



受講者の所属地域

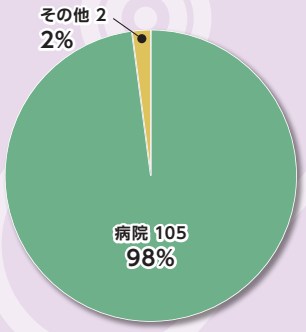




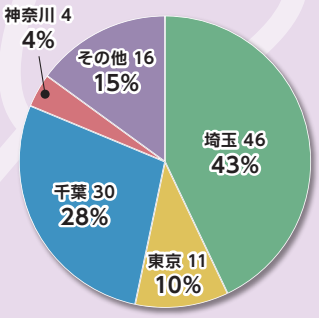
前半の講義が終わり、10月からインターバルに入りました。受講者は、その期間に1日の実習と統合演習に向けて準備をしていきます。

看護学生実習指導者講習会 ・・・・受講者数 107名

受講者の所属



受講者の所属地域





e-ラーニングでの学習を積み重ね、10月からは指導案作成に取り組んでいます。指導案はグループで協力しながら1案作成します。

林センター長 日本看護協会から表彰



林　勝枝センター長が、日本看護協会より永年会員として表彰を受けられました。長年にわたり看護の発展に尽力され、そのご功績は高く評価されています。日頃のご尽力に心より敬意を表するとともに、今回の受賞を皆でお祝いしたいと思います。

一般社団法人　上尾中央医科グループ協議会
キャリアサポートセンター
【所在地】〒362-0036
埼玉県上尾市宮本町 10-29
AMG 学習館 3 階

【お問い合わせ】上尾中央医科グループ協議会　看護本部
（平日）8:30 ～ 17:30　（土曜）9:00 ～ 12:00
TEL 048-771-7765　Mail csc@amg.or.jp
URL https://amg.or.jp/career_support/

表彰者紹介

看護本部

「令和8年度 千葉県看護協会長表彰」受賞

船橋総合病院





受賞者記念品

看護主任　小倉 美香

このたびは、千葉県看護協会より千葉県看護協会会長表彰を賜り大変光栄に思います。これまで多くの患者様やご家族、そして支えてくださった上司、同僚の皆様のお力添えがあって今日を迎えることができました。感謝の気持ちを胸に、これからも初心を忘れず地域医療と看護の発展に貢献できればと思います。

看護係長　足立 智子

この度、令和8年度千葉県看護協会会長表彰をいただくことができました。2001年に千葉県へ転居し、船橋総合病院に勤めさせていただいて以来、良き仲間や多くの方々に支えられ、看護と感染対策に向き合いながら歩んでまいりました。温かく支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。これからも病院の仲間と共に一層成長できるよう努めてまいります。

看護係長　伊藤 留美子

令和8年度千葉県看護協会長表彰をいただくことができ、大変光栄に思います。

船橋総合病院に入職し、たくさんの患者さんと関わり看護師として成長できたと思っております。また、同僚・先輩・後輩にも恵まれ今まで看護師として歩むことができたと思っております。今後も周囲への感謝を忘れず、少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

「第34回日本健康教育学会学術大会 大会長賞」受賞

上尾中央第二病院





第34回日本健康教育学会学術大会

表　彰　状

大　会　長　賞

福田賞（実践）

演題名　ORI-14

「医療従事者の生活習慣病の未治療率、治療目標未達成率の調査と分析」

込山 里栄 殿　米澤 夕紀 殿

第34回日本健康教育学会学術大会において発表された貴殿の研究成果を高く評価し その栄誉をたたえここに大会長賞を贈ります 今後の更なる研究のご発展を祈念いたします

2026年7月19日

第34回日本健康教育学会学術大会

大会長　福田 洋

【外来健診科】

込山 里栄（保健師）

主任　米澤 夕紀（保健師）

私たちは、定期健康診断後の受診勧奨に務めており、この度、職員の健康支援を目的とした研究「医療従事者の生活習慣病の未治療率、治療目標未達成率の調査と分析」が大会長賞を受賞いたしました。ご指導とご協力をいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みとし、今後も医療従事者で働く皆さまの健康増進に貢献できるよう邁進してまいります。

ワーキンググループ活動紹介

臨床工学部

手術室ワーキンググループとは

2021年の臨床工学技士法の改訂に伴う、医師の働き方改革によるタスクシフト・タスクシェアにより、臨床工学技士の業務は拡大しています。その1つとして内視鏡カメラ操作業務（以下スコープオペレーター業務）が臨床工学技士の新たな業務として注目されており、AMG内でも本業務に取り組む施設が増えてきました。

施設間における業務内容や教育体制の差を改善し、知識・技術の共有、マニュアルの整備、業務標準化を推進するため、2025年10月手術室WGを発足しました。


彩の国東大宮メディカルセンター

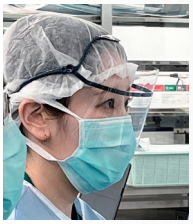

津田沼中央総合病院


八潮中央総合病院

スコープオペレーターとは

手術室で行われる鏡視下手術（内視鏡手術）において、体内に挿入されたスコープ（硬性鏡）を操作し、術野の視野を確保することで、術者の眼となる重要な役割を担っています。

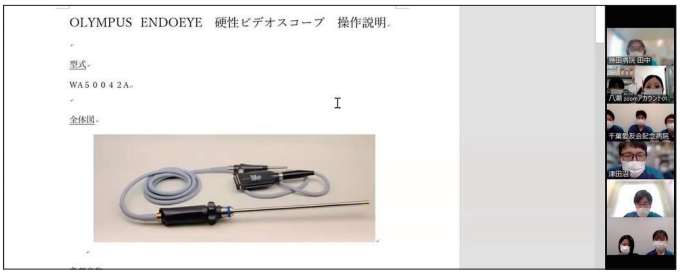
単にカメラ映像を映すだけでなく、手術の進行に応じて適切な視野を維持することが求められます。



手術室WGリーダーの鶴田（八潮中央総合病院）です。スコープオペレーター業務の質をより一層高めるため、施設間での連携を深め、協力し合いながら業務改善に取り組んでいます。これから本業務を開始する施設も安心して導入・運用できるようメンバー一丸となってサポートしていきます。

現在の主な活動内容

- 毎月1回のミーティング（ZOOM開催）
- スコープオペレーター業務に関する情報の共有
- グループ共通の業務規程を作成（2026年3月完成）
- グループ共通の育成マニュアル作成中
- メーカー・販売業者による医療機器・デバイスの勉強会への参加
- 症例見学



WG参加施設

2026年8月現在、7施設、13名のメンバーで活動を行っています。

- 八潮中央総合病院（埼玉県八潮市）
- 彩の国東大宮メディカルセンター（埼玉県さいたま市）
- 伊奈病院（埼玉県北足立郡伊奈町）
- 白岡中央総合病院（埼玉県白岡市）
- 津田沼中央総合病院（千葉県習志野市）
- 千葉愛友会記念病院（千葉県流山市）
- 勝田病院（茨城県ひたちなか市）

学会参加報告

臨床工学部

第71回日本透析医学会学術集会・総会



6月19日（金）から21日（日）にかけて、神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場、ワールド記念ホールと4か所の会場を使用して日本最大級の第71回日本透析医学会・学術集会が開催されました。「腎代替療法に活力を」を開催テーマに国内の透析施設関係者や企業関係者が集いました。AMG臨床工学部からは、8演題の発表がありました。







AMG発表一覧（演題名　病院・施設名　発表者氏名）

ニプロ社製 透析排液熱回収装置 NDK-SPecoの導入 ～消費電力削減に及ぼす影響～	上尾中央腎クリニック	原　一晃
当院での透析中運動療法の取り組みについて	上尾中央第二病院	北川　聖磨
ショートメッセージの一斉送信サービスを利用した災害時の連絡訓練	伊奈病院	富澤　夏帆
日機装社製DCS-200SiVer.3.2D逆濾過透析液を用いた緊急返血の使用経験	津田沼中央総合病院	橋本　歩
目指せ除水マスター！ ～除水プログラム導入～	彩の国東大宮メディカルセンター	三戸部　当麻
透析室での災害対応力向上へ向けて ～想定外の停電を経験して～	彩の国東大宮メディカルセンター	小澤　正宜
シン・災害対策 ～停電から学ぶ訓練の実用性～	船橋総合病院	野村　拓史
個人用監視装置の清浄化に向けた取り組み	白岡中央総合病院	大塚　怜奈

第36回日本臨床工学会



5月16日（土）から17日（日）にかけて、福岡国際会議場・マリンメッセB館にて第36回日本臨床工学会が開催されました。開催テーマとして「志の醸成　臨床工学を未来に紡ぐ」を掲げておりこれからの臨床工学技士が担う未来について演題発表やディスカスション等が行われました。AMG臨床工学部からは15演題と過去最多の発表があり、更にパネリストや座長といったより深く学会に携われた職員もいました。







AMG発表一覧（演題名　病院・施設名　発表者氏名）

業務ローテーションによる若手CEの早期戦力化を目的とした教育プログラムの改訂	彩の国東大宮メディカルセンター	中山　有香
パネルディスカッション26「女性活躍の"現在地" ～少し進んだ、その先にある課題～」	彩の国東大宮メディカルセンター	中山　有香（パネリスト）
公募企画5「病棟モニターアラームを、もう一度見直してみませんか ～アラーム疲労をなくすためにCEができること～」	彩の国東大宮メディカルセンター	中山　有香（座長）
院内資格制度を活用したスコープオペレーター教育の有効性と今後の課題 ～教育を受けた立場からの考察～	彩の国東大宮メディカルセンター	大野　栞
「除水のミスゼロへ」～除水プログラムが守る患者安全～	彩の国東大宮メディカルセンター	三戸部　有麻
NHF移動時における電源確保体制の見直しと業務改善	彩の国東大宮メディカルセンター	牛丸　はるか
臨床工学技士による夜間緊急内視鏡介入の有用性と医師業務への影響	上尾中央総合病院	鈴木　亜久里
当院における内視鏡スコープ先端保護の取り組み	上尾中央総合病院	三浦　眞昌
心・血管カテーテル業務改善を目指した科内FAQ Chat Botの構築経験と展望	上尾中央総合病院	中野　信志
臨床工学技士が内視鏡センター業務へ介入した際の問題点	東川口病院	山本大輝
医療機器管理WG発足によるAMG内機器管理業務改善への取り組み	伊奈病院	浦山　孝梓
手術視覚支援AIプログラム「EUREKAα」を用いた内視鏡外科手術のスコープオペレーターとしての経験	津田沼中央総合病院	林　伸哉
スコープオペレーター業務参入と手術視覚支援AIプログラムEUREKAαの活用と展望	津田沼中央総合病院	橋本　歩
タスクシフト/シェア 当院における安全性と貢献度	津田沼中央総合病院	関口　友宏
透析用洗浄剤1剤化の試み 第1報	千葉愛友会記念病院	安達　剛
チーム医療で行う医療機器管理体制	柏厚生総合病院	堀井　美悠
災害対策のコンカン ～ハンドルレスでの血液ポンプの手動操作～	船橋総合病院	野村拓史

臨床工学部研修会報告（発表力向上研修・ビジネスマナー研修）

臨床工学部

発表力向上研修を終えて

臨床工学部　小笹 武勝

今年度より良い発表の仕方を学ぶという目的で、彩の国東大宮メディカルセンターの中山臨床工学科科長を講師として臨床工学部職員を対象に研修をおこないました。

テーマとして「プレゼンの魅せ方教えます。～発表に強くなろう～」を掲げ、各施設より施設長あわせて19名の参加がありました。

研修の内容は、「①自己紹介(施設名・名前、今日の目標)/研修の目的 ② スライド作成のポイント ③ グループワーク『文字だらけのスライド改善・発表』④ 個人ワーク 1 枚スライド作成「臨床工学技士の魅力を高校生に1分で伝えてください」 ⑤ 生成AIの使い方 ⑥プレゼンのポイント ⑦ 個人ワーク・発表 ④で作成したスライドを使用しての発表」と非常に内容の濃いものでした。

科長の経験から様々なポイントが伝えられ、受講者はその場でスライドのデッサンを紙に作成し発表しました。科長からのコメントにもありましたが、どの作品も臨床工学技士の魅力が伝わる素敵な作品でした。

参加者のアンケート結果は、勉強会の必要性：「必要」100%、他場面（普段の業務等）での役立ち度：「役に立つ・立ちそう」100%、不安解消・モチベーション向上：「向上・解消になった」100%、グループ全体での実施希望：68.8%（11名が「全体で実施すべき」、5名が「希望者のみで良い」）という内容でした。

アンケート結果にもありますが、話し方や目線の位置まで注意点を教えてくれたため、学会発表だけでなく会議や日常の業務にも効果が期待できると感じました。

今回初めてこのような研修をおこないましたが、発表やプレゼンテーションのコツを覚えることは自信にもつながると考えます。今後どのような形にしていくかを含め部内で検討し計画していきたいと思います。





ビジネスマナー研修を終えて

臨床工学部　小笹 武勝

昨年度より臨床工学部の教育部門にて新入職員を対象としたビジネスマナー研修を始めました。2回目となる今回は昨年度の反省を活かし、新入職員同士の交流が持てるものを目指しました。

今年度は他己紹介という形で、隣に座った相手に好きな食べ物や趣味等を聞き、皆に紹介するというものでした。恐らくこのような経験は少ないであろうと思われましたが、楽しい紹介が多く、中には物まねの上手な者もおり、自然と笑いの絶えない時間となり場も和みました。時間の都合上半数の紹介にとどまりましたが、全員の紹介を聞きたいと感じました。

研修の内容は昨年度に引き続き敬語の使い方、電話対応の仕方、立ち居振る舞いを中心としました。昨年同様敬語に関してはクイズ形式にして皆に質問しながら答えてもらい、名刺交換や電話対応等はロールプレイ形式で練習しました。敬語の中の新たな項目として「できない」場合、どのように伝えるべきかを追加しました。私たちの職業柄、患者様や多職種に対してお断りしなければならないことが多くあります。その際、相手に不快に感じられないような表現を取ることが必要とされます。新入職員も現場で慣れる時期に勉強しておくことは、非常に有効だと感じました。

立ち居振る舞いの中では係長たちの演技力で笑いに包まれた名刺交換やお客様をご案内する際のドアの開け方は、今回新たに教育部門に加わった係長たちの魅せ方もあり、今年も大変盛り上がりました。また動画を使ってお箸の使い方も取り入れ、こちらも楽しく笑いながら学べました。

研修の内容すべてがより具体的で、わかりやすく、実践的なものに改善されたと感じました。細かい部分での修正はありますが、部門内で検討し次回以降に活かしていければと考えます。













ビジネスマナー研修に参加した感想

エイトナインクリニック　吉田 凛太朗

今回のビジネスマナー研修を受講し、社会人として求められる基本的な敬語やマナーの大切さを改めて学びました。序盤のアイスブレイクで他己紹介を挟むことで緊張がほぐれ、リラックスして研修に臨むことができました。

また、電話対応や名刺交換では、相手の立場を考え、丁寧で分かりやすい対応を心掛けることが信頼関係の構築につながることを理解しました。マナーは単なるルールではなく、相手への思いやりや敬意を表す行動であると感じました。

今回学んだ内容を職場で実践し、相手に安心感や信頼感を与えられる医療人を目指していきたいです。

栄養部

栄養部 2026年度 新たな挑戦 ―「チャレンジ研修」始動！

2026年度、栄養部は新たな取り組みとして「チャレンジ研修」をスタートします。

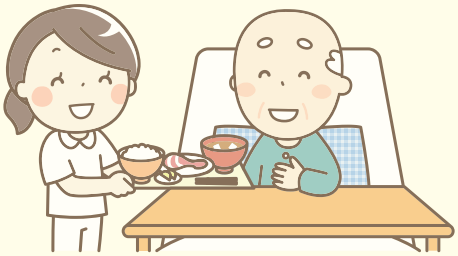
この研修は、他病院・他施設、直営と委託運営など異なる現場を訪問し、実際に体験しながら学び合うことで、新たな発見・栄養管理・給食管理の質向上、職員の成長を促し、利用者様・患者様の“食べる楽しみ”の向上を目指す取り組みです。

私たちのグループには、多様な施設があるからこそ得られる“他施設の視点”という強みがあります。

これまでワーキンググループで行われた取り組みでは、他施設の現場を知ることが業務改善や職員のモチベーション向上に直結することが実証されてきました。

こうした成果を受け、今年度よりチャレンジ研修として栄養部全体へ展開することとなりました。

4つのChallenge



Challenge 1 現場を見に行く
他病院・他施設を知り、新しい視点を得る

Challenge 2 体験して学ぶ
実際の現場で、栄養管理・給食管理の学びを深める

Challenge 3 業務改善につなげる
得た気づきを自部署に持ち帰り、業務改善や質向上につなげる

Challenge 4 食べる楽しみを広げる
学びを利用者様・患者様の「食の楽しみ」へ還元し、より豊かな食事提供につなげる

これからの栄養部は、新たな視点の獲得、業務の質向上、そして管理栄養士としての成長を重ねながら、利用者様・患者様の“食べる楽しみ”をより豊かにする取り組みを進めて参ります。







AMG栄養研究会　部会長　ハートケア市川　石見 孝子

上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会

AMQI
The AMG Committee of Medical Quality Improvement

お問い合わせ先｜AMQI事務局（上尾中央総合病院 組織管理課）e-mail ▶▶▶ omr@ach.or.jp

連載 第73回 チームで届ける「医療の質」～職種の垣根を超えて育む安全と安心～

今年度の診療報酬改定では、現場のベースアップや医療DXの推進をはじめ、地域包括ケアや多職種連携の深まりが大きなポイントとなっています。どれだけ制度や環境が変わっても、私たちが一番大切にしたい本質は変わりません。それは「患者様へ届ける医療とケアの質を高めていくこと」です。

私自身、いくつかの病院を訪問させていただく中で、強く実感していることがあります。本当に素晴らしいと思う病院に共通しているのは、職種の壁を超えたチームの連携が見事にとれているということです。

医療の質や安全は、誰か一人の特別なスキルや、特定の部署だけの頑張りだけで作れるものではありません。日々のケアの中で気づいた変化や声を、職種の枠を超えてスムーズに共有し、チーム全体で受け止めます。そしてお互いの専門性を尊重しながら、患者様やご家族の意思や思いに寄り添う「意思決定支援」をチーム全員で実践していきます。この積み重ねが事故を防ぎ、患者様の安心につながる大きな力となります。

数字や点数といった評価のためだけでなく、現場で働く「人」と「チーム」の信頼関係を大切にすることが、これからの医療を支える一番の土台だと感じています。これからも職種の垣根を超えて声を掛け合い、全員でより良い医療と看護を目指していきましょう。

看護　荒川 智美

あゆみ会

2026年 7月13日（月）

（あゆみ会）AMG管理職OB会総会を開催 新体制がスタート！



上尾中央総合病院内のレストランゆーらっぷにて、2026年度総会が開催されました。今回は役員改選も行われ、これまで会長を務められた宮坂俊弘会長から、齋藤雅彦新会長へとバトンが引き継がれ、新たな体制でのスタートとなりました。

総会後の懇親会では、久しぶりに顔を合わせた仲間たちが近況を報告し合ったり、懐かしい思い出話に花を咲かせたりと、終始和やかな雰囲気に包まれました。話は尽きることなく、大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。





埼玉上尾メディックス

2026-27大同生命 SV.LEAGUE WOMENが開幕しました!!

いつも埼玉上尾メディックスへご支援いただき、誠にありがとうございます。
ついに開幕を迎えた2026-27大同生命SV.LEAGUE WOMEN。
悲願の優勝に向けて、選手・スタッフ一丸となって戦い抜きます。
ぜひ会場にお越しいただき、熱いご声援をよろしくお願いいたします！

大同生命 SV.LEAGUE



MEDICS INFORMATION

全試合日程はこちらから

チケット情報はこちらから

試合速報はXをチェック

試合ハイライトをご覧になりたい方はこちら

JSPORTSオンデマンドに加入してメディックスを応援しよう！ ※こちらは、初回購入時のみ対象となりますのでご注意ください。





埼玉上尾メディックス

今シーズンのキャプテン・副キャプテンが決定!!

キャプテン　#18 権田 寛奈



今シーズン、埼玉上尾メディックスのキャプテンを務めることになりました。今までのバレーボール人生で「キャプテン」を務めた経験がなく、初めての挑戦です。チームのみんなの力を借りながら、一緒に考え、全員でバレーボールを愛し、成長し続けたいと思えるよう尽力してまいります。
そして、今シーズンのスローガンである「新風」を体現しながら、リーグ優勝を目指します。応援してくださる皆さまを愛し、そして、愛していただけるようなチームを目指して頑張りますので、今シーズンもたくさんのご声援をよろしくお願いします。

副キャプテン　#17 鎌田 咲希



いつもたくさんのご声援ありがとうございます。このたび、副キャプテンをさせていただくことになりました。チーム全体が成長できるよう、みんなと一緒にバレーボールを楽しみ、そして自分自身の成長につなげられるように頑張ります。
今シーズンも温かい応援のほど、よろしくお願いします。

副キャプテン　#8 山地 梨菜



副キャプテンを務めることになりました。今まで経験したことがない立場で不安もありますが、だからこそ楽しみながら自分らしさを忘れずにチームやキャプテンを支えていきたいと思います。また、年齢・副キャプテン関係なくチーム全体とコミュニケーションをしっかりと取り、みんなが意見を出しやすい環境や声掛けをしていきたいと思っています。1年間よろしくお願いします！

新加入選手の紹介



#10
金田 修佳選手

プロフィール

背番号/10番
ポジション：アウトサイドヒッター
生年月日：1996年6月6日
身　　長：177cm
代 表 歴：2022年 日本代表
経　　歴：
平野ジュニアーズ
→大阪国際大和田中学校
→大阪国際滝井高等学校
→岡山シーガルズ



#19
チャッチュオン・モクシー 選手

プロフィール

背番号/19
ポジション：アウトサイドヒッター
生年月日：1999年11月6日
身　　長：181cm
出 身 地：タイ
代表経歴：
14歳で代表(シニア)初選出
2014年～現在　タイ代表　VNL、世界選手権など主要な国際大会で活躍



#23
ジダーパー・ナーワノン 選手

プロフィール

背番号/23
ポジション：リベロ
生年月日：2002年2月22日
身　　長：172cm
出 身 地：タイ
代表経歴：
各アンダーカテゴリー(U-17及びU-19)タイ代表で活躍
2023年　シニア代表に選出
2023年 SECゲーム 金メダル獲得に貢献
2023年～現在　タイ代表

新加入選手を代表して金田選手から意気込み！

初めまして、今シーズンから埼玉上尾メディックスに加入しました背番号10番金田修佳です。
チームスローガン「新風」のもと、新しい風を吹かせる選手としてチームを勝利へ導けるよう頑張ります。
ぜひ、会場で熱い応援をよろしくお願いします！！

埼玉上尾メディックス

『2026-27シーズン 新ユニフォームお披露目会』を開催しました!

『2026-27シーズン　新ユニフォームお披露目会』が9月5日(土)にイオンモール上尾で、6日(日)にそごう大宮店で開催されました。
イオンモール上尾で行われた「2026-27シーズン　新ユニフォームお披露目会」には濵松明日香、目黒安希、井城青空、金田修佳、入澤まいの5選手が登壇し、駆けつけてくださった多くのファンの皆さまから、温かいご声援をいただきました。選手が意気込みを語るとたくさんの拍手に包まれ、アットホームで温かみのあるイベントとなりました。
イベントのあとは『バレーボール選手と一緒に！親子バレーボール体験会』とワークショップを開催。選手自ら練習メニューを考案し、ウォーミングアップからパス、アタック練習と、親子の絆を深めるとともに、バレーボールの魅力を広く伝える貴重な機会となりました。子どもたちの明るく元気な姿が、会場を大いに沸かせました。









翌日、そごう大宮店で行われた「2026-27シーズン 新ユニフォームお披露目会」には山中宏予、山地梨菜、鎌田咲希、権田寛奈、岳野ひかる、小山明の6選手が参加。
当日はあいにくの雨模様でしたが、選手のユーモアあふれるトークに、100人を超えるファンの皆さまで埋め尽くされた会場は笑顔に包まれました。最後は鎌田選手が「2026-27 大同生命SV.LEAGUE WOMEN」に向けた決意表明。この日一番の盛り上がりを見せました。
イベント終了後は、そごう大宮店で選手がチラシ配りを行い、地域の皆さまと交流を深めました。

プレシーズンマッチを開催しました!

令和8年度 埼玉上尾メディックス連携事業 公開試合＆バレーボール教室

vs群馬グリーンウイングス

9月12日(土)に桶川サン・アリーナで、公開試合とバレーボール教室を開催しました！公開試合は3セットオープンで行い、2勝1敗という結果でした。試合は両チームともに粘り強いプレーを展開。長いラリーが繰り広げられ、会場全体が引き込まれる熱戦となりました。中でも、2年目の井城選手が全セットでスターティングメンバーとして出場。攻守ともに存在感を発揮し、新シーズンへの期待を感じさせるプレーを披露しました！







バレーボール教室は桶川市の小中学生、初めてバレーボールに触れる子どもたちに向けて3つのグループに分かれて実施いたしました。どのグループも終始明るい雰囲気で、小中学生の中には、プロの技術を学ぼうと選手に熱心に質問する姿も見られました。

鴻巣市×埼玉上尾メディックス 包括連携協定締結記念プレシーズンマッチ

vs Astemoリヴァーレ茨城

9/26(土)に鴻巣市総合体育館で、「鴻巣市×埼玉上尾メディックス　包括連携協定締結記念プレシーズンマッチ」を開催いたしました。リーグ戦を想定して、5セットマッチ・3セット先取のルールで行われた一戦。第1セットを先取されるも、続く第2セットを取り返し、その後も互いに点を取り合う一進一退の攻防が続きました。勝負の第5セットでは、最後まで粘り強く戦いましたが、一歩及ばず悔しい敗戦となりました。一方で、金田選手のチームに勢いをもたらすスパイクや、井上選手のいぶし銀のプレー、岳野選手のガッツあふれるレシーブなど、今後につながる収穫の多い試合となりました。





